

大田原市湯津上庁舎 施設概要書



2 事業費

区 分	内 容	金 額 (円)	実施時期等
設 計	基本設計 実施設計 用地等測量	43,428,000	平成14年度
工事監理	監督 建築工事監理 外構工事監理	19,173,000	平成15～16年度
建築工事	建築工事 太陽熱利用暖房設備工事 電話機設置等工事	1,007,811,000	平成15～16年度 (平成15年7月7日 ～平成16年7月31日)
外構工事	放流水路整備工事 調整池工事 場内整備工事	159,180,000	平成15～16年度
用地取得		43,684,585	平成14年度
備品購入		27,300,000	平成16年度
合 計		1,300,576,585	

3 特徴的な仕様

●平屋建てを基調とした建築物

敷地条件に配慮するとともに、住民が利用しやすく、機能的な庁舎の実現をめざしました。

●事務室をオープンスペース化、間仕切りは取り外し可能なパーティションを採用

部屋の間仕切りは必要最小限に抑え、後日の模様替えに柔軟に対応できる構造としました。

●情報化に対応したフリーアクセスの二重床

ケーブル等の柔軟な配線を可能にする二重床を採用しました。

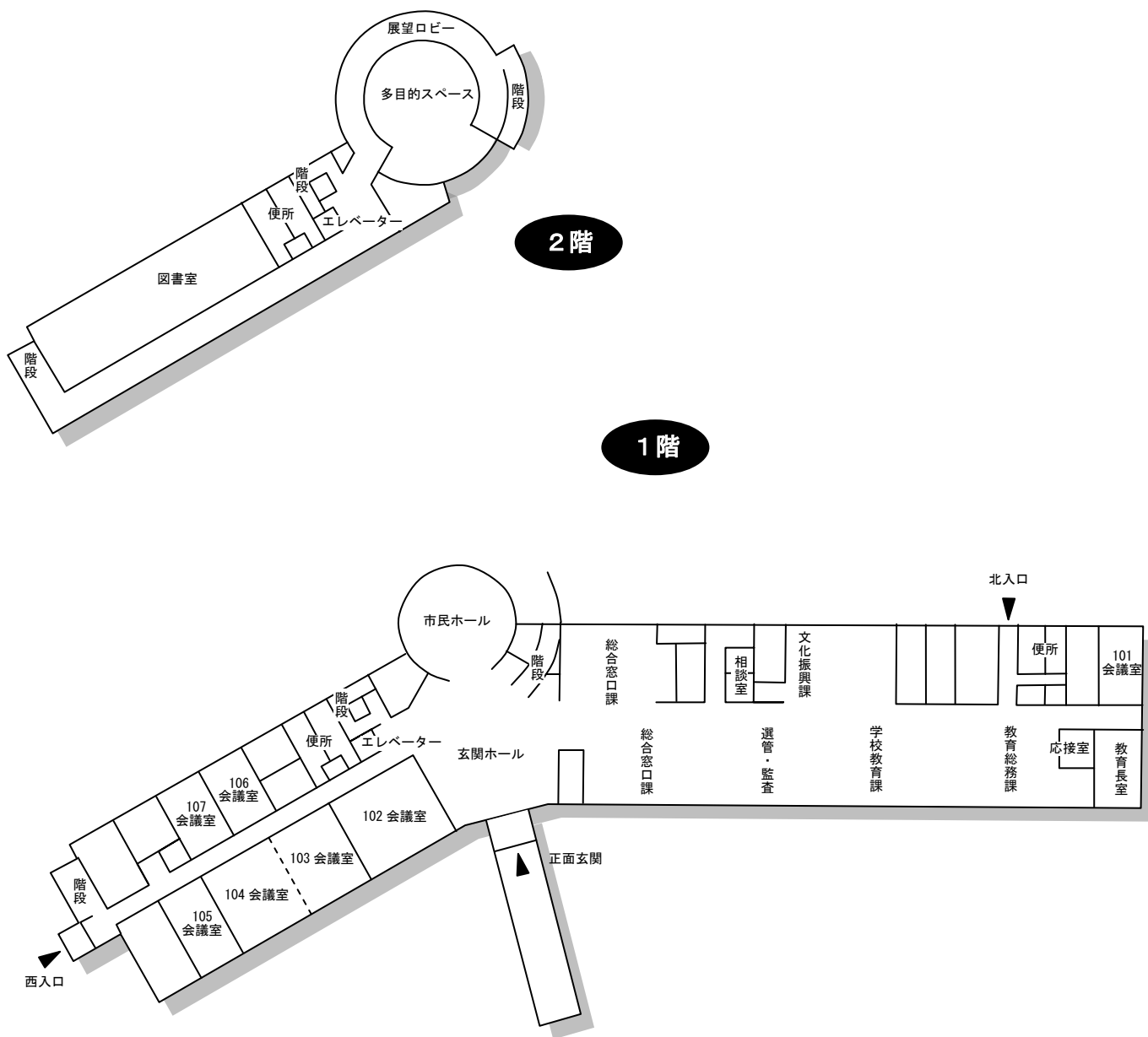
●太陽熱利用暖房設備（パッシブソーラーシステム）を導入

冬は、屋根の集熱面で暖められた空気を床下から室内に取り込み（床暖房）、夏は昼間の熱い空気を排気ダクトを通じて排出する仕組みになっています。

●氷蓄熱方式空冷ヒートポンプ・パッケージ方式を採用

割安な夜間電力を利用して氷を蓄熱槽に蓄え、昼間には蓄えた氷のエネルギーの放熱と熱源機の運転を組み合わせることで、CO₂排出量を削減することができます。

大田原市湯津上庁舎平面図





図書室



執務エリア

主要な部屋の状況



玄関・市民ホール



大会議室



教育長室